

“名張市の魅力を伝えたい！” みんなの思いを実現しよう

このプロジェクトでは地域の小学生が主体となり、市政への願いを考えたり、“リアルお土産さんごっこ”のばりっ子モールを通して地域の活性化を目指したりなど、約1年間で様々な活動に取り組みます。私たちの役割は、子どもたちの発想や挑戦を見守りながら、まちづくりへの参加を後押しすることです。

- メンバー数 : 2名
- 活動場所 : 名張市
- 実施主体 : 名張市役所 子ども家庭室
- 担当教員 : 山本 智子 (教育学部)
- 活動年度 : R01, R02, R03, R04, R05, R06, R07



1年の活動まとめ・考察 (成果と課題)

本活動は、6月から10月にかけてばりっ子モールの準備と市政への提言内容を考える活動を行い、11月にばりっ子モール開催、1月に活動全体の反省会と提言式を行いました。子どもたちはアイデアを出し合い、役割分担や準備を進める中で、名張市について感じていることや改善してほしい点について話し合いをしてきました。ボランティアとしては、子どもたちの自主性を尊重しつつ、話し合いの進行や準備のサポート、見守りを行い、子どもたちのしたいことの実現のお手伝いをしました。10月には、『名張市を綺麗にしたい』という思いからみんなで清掃活動を行い、地域の一員としてゴミ拾いを行うことで、まちづくりへの関心や責任感を育む機会となりました。11月のばりっ子モール当日は、子どもから大人まで多くの来場者でにぎわい、子どもたちは自分の役割を全うしつつも楽しんだ様子で、大成功を収めました。反省会で良かった点や今後の課題について話した後、提言式では子どもたち自身の言葉で市政への思いを伝えることができていました。去年と同様の活動内容でしたが、今年子どもたちとより近い距離感で関わることができたように思います。約1年間の活動を通して、子どもたちの考える力や伝える力を伸ばすためのフォローの仕方を学ぶとともに、自分自身の地域や市政への参加意識を深めることができました。一方で、意見が出にくい子どもへの関わり方や話し合いの進め方、準備期間の長期化による集中力の差などの課題も見られました。この課題を元に、来年度の活動をさらに良いものへと繋げていきたいです。

月別活動

- 6月 自己紹介、ばりっ子会議についての説明
- 7月 「こんな名張市になってほしいな」について話し合う
- 8月 提言内容の決定、今年の活動内容の決定
- 9月 ばりっ子モールの準備
- 10月 ばりっ子モールの準備、清掃活動、レクリエーション
- 11月 ばりっ子モール開催
- 1月 反省会、提言式

活動を通して学んだこと

昨年度は私たち自身も初めての活動で慣れない部分が多くありましたが、今年度は二年目ということもあり、こちらから積極的に子どもたちに話しかけたり、前に立つ際には笑顔が心がけたりするようなことが、自然とできるようになりました。その結果、活動全体の雰囲気も次第に柔らかくなっていったように感じます。話し合いの場では、子どもたちからさまざまな意見や考えが出され、自分たちにはない発想力に感心すると同時に、そのアイデアを引き出し、整理していくことの難しさを実感しました。特に、「名張市をきれいにしたい」という思いから自分たちで清掃活動に取り組んだり、「名張の名物を広めたい」という目的に向けて商品进行を考案したりするなど、考えを行動に移す子どもたちの姿勢には強く関心しました。それでも、指示や説明が分かりやすく正確に伝わるよう工夫し、子どもたちが楽しみながら活動できるよう意識してサポートすることができたと感じています。

また、参加してくれた子どもたちや活動を支援してくださった名張市の方々と共に取り組むことは、新鮮で貴重な経験となりました。数回という限られた活動の中でも、子どもたちが持つ力やエネルギーを強く感じ、「アイデアを形にする」ことの楽しさと難しさに改めて気付くことができました。この活動を通して、支える立場としての役割の重要性や、多様な視点から物事を考えることの大切さを学ぶことができました。

実施主体からのコメント

名張市子ども家庭室
ご担当者様

「ばりっ子会議」は、子どもたちが自分たちの意見を安心して出し合い、その声を市政に届けることを目的に実施しています。

CLL活動2年目となった今年度は、子どもたちとより深く関わりながら、信頼関係を築き、会議を進めていただきました。子どもたちと年齢が近く、身近で安心して意見を伝えられる相手となり、多様な意見や思いが自然に引き出され、子どもたちの声を尊重し寄り添いながら、丁寧に整理、言語化していただいたことで「ばりっ子会議」の内容が充実したものとなりました。

本活動を通して得た、子どもたちの声に耳を傾ける姿勢や、意見をまとめ伝える力が、今後の学びや社会での活動において大いに活かされることを願っています。

担当教員より

教育学部 山本 智子

昨年度の経験や成果をもとに、今年度はより深く広く考え、体験する機会になったことと思います。子どもたちの意向を受け止め、具体化したプロセスとその結果からの学びを今後にかかしていきます。



- ・自分の地元に貢献したい人
- ・小学生と関わる機会がほしい人
- ・市の職員の方からお話を聞きたい、関わってみたい人



成果物 / 制作物

